

## JICA草の根技術協力事業のフィールドマネージャーの招聘

カンボジアにおけるJICA草の根技術協力事業による活動を、現地にて統括してきたラタナさんを9月に招聘し、お酒の製造管理と企業経営に関する研修を行いました。日本酒、ワイン、発酵食品を中心とした食品加工会社を視察し、原材料の調達から販売方針に至るまで熱心に質問を繰り返していました。草の根事業は終了を迎えましたが、今後は王立農業大学内に所在する加工品製造・販売会社Cambodia Japan High-quality AgroProductsにてマネージャーとして酒造農家や商品製造・販売に従事する予定です。(伊藤香純)



## 離任挨拶

### 渡邊吉子

2017年11月より、JICA草の根技術協力事業「カンボジアにおける農産物・加工品の安全性向上プロジェクト」に参加し、プロジェクト終了までの2年弱、現地で業務調整員を務めさせていただきました。

自国の農業における課題改善に貢献したいという熱量のあるカンボジア人の方々とともに、安全な伝統米蒸留酒製造の普及、メタノール中毒事故防止の啓発、野菜栽培における安全な農薬使用法の普及、国産の果物を使った安全性の高いジュースの製造・商品化など、幅広い分野で活動させていただいた2年間は、本当に学びが多く有意義な時間でした。

農業未経験の私に最後まで粘り強くご指導ご鞭撻くださいました伊藤香純先生をはじめ、諸先生方、事務室のみなさま、関わりのあった研究員・院生のみなさまには大変お世話になりました。感謝申し上げます。



## 着任挨拶

### 井成真由子 研究員

2019年9月より、農国センターの研究機関研究員として着任致しました。過去の名古屋大学在籍時には、イネの収量性向上に重要な穂(シンク)に注目して、穂型制御に関わる遺伝的要因を解明することを目的に研究を行っておりました。本センターでは、イネの根に着目した「不適環境下での安定生産を目指したイネの遺伝的改良」に関する研究を遂行しております。これまでに培ってきた知識や観察力、研究員としての経験を活かしつつ、本センターの発展に寄与できるように、精一杯努力していく所存です。どうぞ、宜しくお願い申し上げます。

**略歴** 1982年愛知県生まれ。2005年愛知教育大学教育学部卒業。2010年3月に名古屋大学大学院生命農学研究科にて博士号(農学)を取得後、名古屋大学生物機能開発利用研究センター研究員、2015年東海学園大学助手を経て2019年9月より現職。



## オープンセミナー(2019年6月~2019年12月)

回数	日時	テーマ	講師	所属
2019年度 第1回	2019年 7月10日	GTR-ICREA-ITbM Seminar 次なる40億人 農業研究開発から学んだことと今後の方向性	石谷 学	国際熱帯農業センター 農業生物多様性研究領域
2019年度 第2回	2019年 9月3日	The Value of Integrated Agricultural Research for Development: the case of Africa	Dr. Harold Roy-Macauley	Director General Africa Rice Center (AfricaRice)